

## 平成 1 1 年度試験研究成果

区分	指 導	題名	アマランサスに発生する害虫と防除対策		
〔要約〕アマランサスの害虫として 12 種類が確認された。大部分の種類は発生密度が低く、5 年間の調査では実害を問題とするような害虫は見られなかった。このことから、マランサス栽培においては、通常殺虫剤散布による害虫防除は必要ない。					
キーワード	アマランサス	害 虫	耕種的防除	県北農業研究所	営農技術研究室 やませ利用研究室

### 1. 背景とねらい

新規導入作物のアマランサスに発生する病害虫について、これまでほとんど不明であった。本研究ではアマランサスに発生する害虫を把握することを目的とし調査を行い、害虫の発生生態に基づく耕種的防除法についても考察を加えた。

### 2. 技術の内容

- (1) アマランサスの害虫として 12 種類が確認された(表 1)。
- (2) 5 年間の調査期間内で実害が問題となるような害虫は認められなかったのでアマランサス栽培では、通常薬剤による防除は不要である。
- (3) しかし、発生生態等からヨトウガおよびネキリムシ類については、場合によっては実害の生じる可能性が考えられるので、以下に示す耕種的な防除対策をとる。

種 名	防除対策	防 除 時 期	方 法
ヨトウガ	卵塊及び若齢 幼虫の捕殺	第 1 世代	6 月中下旬(県北)
			6 月上中旬(県中南)
	第 2 世代	8 月中下旬(県北)	孵化時期に圃場を見回り葉をすかし状に食害している孵化幼虫の集団を葉ごと取って処分する
		8 月上中旬(県中南)	
ネキリムシ類	雑草の早期防 防の徹底*	発芽時から生育中期(7月上旬)	この間に 2 回程度の機械除草(ホ - 除草を含む)を行う
	幼虫の捕殺	発芽~生育中期(随時)	被害株の根本を掘って幼虫を捕殺する

\* ネキリムシ類(とくにタマナヤガ)はアカザ類やタデ類などの畑雑草の幼苗に好んで産卵する習性がある

### 3. 普及(指導)上の留意事項

- (1) アマランサスでは使用できる登録農薬はない。
- (2) シロオビノメイガやオオタバコガなどの飛来性害虫は、高温年に発生する傾向があるが、いまのところ有効な耕種的防除対策は知られていない。

### 4. 技術の適応地帯 県下全域

### 5. 当該事項に係る試験研究課題

畑地利用 1 - 1 - イ - (イ)  
アマランサスにおける病害虫発生調査

### 6. 参考文献・資料

- (1) 社団法人 岩手県植物防疫協会(1995) いわたの農作物病害虫図鑑( )野菜・花き編
- (2) 岩手県農業研究センタ - 県北農業研究所営農技術研究室 平成 9 年度 試験成績概要
- (3) 岩手県農業研究センタ - 県北農業研究所営農技術研究室 平成 11 年度 試験成績概要(未定稿)

- (4) 岩手県農業研究センタ - 県北農業研究所営農技術研究室 平成 11 年度 試験成績書 (未定稿)
- (5) 岩手県立農業試験場病害虫研究室 平成 8 年度 試験成績概要
- (6) 九州農業試験場資源作物研究室 (1996) 平成 8 年度 資源作物試験成績
- (7) 森津孫四郎 (1983) 日本原色アブラムシ図鑑 全国農村教育協会鑑
- (8) 農産業振興奨励会 (1990) アマランサス p19-22

## 7. 試験成績の概要

(具体的なデータ)

表1 アマランサスで確認された害虫

種	名	観察された時期
昆虫綱 鱗翅目		
ヨトウガ	<i>Mamestra brassicae</i> (LINNAEUS)	H7,9 : 8月下旬~9月中旬
カブラヤガ(ネキリムシ)	<i>Agrotis fucosa</i> BUTLER	H11 : 6月中旬~
ハスモンヨトウ	<i>Spodoptera litura</i> FABRICIUS	H7 : 10月
オオタバコガ	<i>Helicoverpa armigera</i> (HUBNER)	H9 : 8月下旬~10月上旬
フキノメイガ	<i>Ostrinia scappulalis</i> MUTUURA et MUNROE	H7 : 9月
シロオビノメイガ	<i>Hymenia recurvalis</i> (FABRICIUS)	H7 : 8月下旬~9月中旬
鞘翅目		
テンサイトビハムシ	<i>Chaetocnema concinna</i> Marschall	H9,11 : 播種直後~7月下旬
カメノコハムシ	<i>Cassida nebulosa</i> LINNAEUS	H11 : 6月中旬~
粘管目		
キボシマルトビムシ	<i>Bourletiella hortensis</i> (FITCH)	H11 : 播種直後~6月中旬
半翅目		
ジャガイモヒゲナガアブラムシ	<i>Acyrtosiphon solani</i> (Kaltenbach)	H11 : 6月中旬~
マメアブラムシ	<i>Aphis craccivora</i> Koch	H11 : 6月中旬
蜘蛛綱 ダニ目		
カンザワハダニ	<i>Tetranychus kanzawai</i> KISHIDA	H11 : 6月中旬~

表2 アマランサスで確認された害虫の加害様相

種	名	加害態		加害時期			加害部位			
		幼虫	成虫	生育初期	生育中期	生育後期	根・地下茎	地上茎葉柄	葉・子葉	穂
ヨトウガ										
カブラヤガ(ネキリムシ)										
ハスモンヨトウ										
オオタバコガ										
フキノメイガ										
シロオビノメイガ										
テンサイトビハムシ										
カメノコハムシ										
キボシマルトビムシ										
ジャガイモヒゲナガアブラムシ										
マメアブラムシ										
カンザワハダニ										

: 確認はしていないが生態上加害すると思われるもの